

令和3年 7月

■一般文学

「鎌倉うずまき案内所」

- ・著: 青山 美智子
- ・出版社: 宝島社

誰でも駅や観光地の案内所を利用したことがあると思います。“鎌倉うずまき案内所”は普通の案内所とはちょっと違いますが、とても頼りになる不思議な案内所です。

双子のおじいさんの内巻さん、外巻さんとアンモナイトの所長さんは、きれいなブルーの甕(かめ)の中からヒントを拾い上げて、毎日の暮らしの中で何かにはぐれてしまった人に教えてくれます。そして、いつも迷った自分を導く力は自分の中にあると気付かせてくれます。

6編のお話は次第にうずまいていき、読み進めていくうちに登場人物の過去や未来を行ったり来たりしながら彼らを応援したくなるでしょう。

(対象 一般)

■一般書

「もしも虫と話せたら」

- ・文: ペズル
- ・絵: じゅえき太郎
- ・監修: 須田 研司
- ・出版社: プレジデント社

この本の舞台は、夏のとある雑木林。職場の人間関係がうまくいかず、生き方に悩む青年・太郎くんがしゃべる昆虫たちと出会い、「生き物としての先輩」である彼らから「楽と楽しいは別物」、「長所の裏には必ず短所がある」といった15の自然の鉄則を学びます。

優しいイラストと、太郎くんと虫のコミカルな会話からイメージがしやすい自己啓発書です。また、昆虫図鑑としても楽しめる1冊です。

(対象 一般)

■児童書

「ひみつのおばけ一家」

- ・作: 石崎 洋司
- ・絵: はんだ みちこ
- ・出版社: 岩崎書店

主人公はおばけの死神霊子。おばけだってことはひみつです。ずっとあこがれていた小学校に通うことになり、勉強や友達と一緒に遊んだりすることをとっても楽しみにしている。でも転校初日に学校おばけをめざめさせてしまって・・・、死神霊子はどうなる？

もしかしたら、自分の学校にもおばけがいるかもしれない……。なんて、わくわくしてきます。夏休みにおばけのおはなしはいかがですか？

(対象 小学中学年から)

■絵本

「シバ犬のチャイ」

- ・文:あおき ひろえ
- ・絵:長谷川 義文
- ・出版社:BL 出版

あなたの家にはペットがいますか。もし、そのペットの思っていることがわかったら…。この絵本は、ある家にいる豆シバのチャイの日常がおもしろおかしく描かれています。

犬は末っ子と思われがちですが、「とっくにおまえらのねんれいこえてんだよ」

かわいい犬をさわりたい人が多いと思いますが、「あいてをするのもらくじゃないぜ」

犬も恋をするみたいですが、恋をしたとなりのマルちゃんが実は…

さて、あなたの家のペットはどんなことを思っているのでしょうか。

(対象 0 歳から)